

## 藤が丘駅前地区 再整備基本計画（素案）説明会中止のお知らせ

### お知らせ

- ・ 藤が丘駅前地区再整備基本計画（素案）説明会中止について

### 藤が丘駅前地区再整備基本計画（素案）説明会中止について

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、4月24日(金)及び26日(日)に予定していた藤が丘駅前地区再整備基本計画（素案）説明会は中止いたします。

なお、藤が丘駅前地区再整備基本計画（素案）については別途、横浜市ホームページにおいて5月7日(木)～6月5日(金)の期間に市民意見を募集します。

（公表資料、市民意見募集については改めて当社ホームページでもお知らせ致します）

#### ●問い合わせ先

東急株式会社 沿線開発事業部 開発第二グループ

eメール [fujigaoka.pj@tkk.tokyu.co.jp](mailto:fujigaoka.pj@tkk.tokyu.co.jp)

## 地区の概要

横浜市の北西部に位置する藤が丘駅周辺は、昭和41年の土地区画整理事業により道路、公園、駅前広場等の都市基盤施設が整備され、地域医療の中核を担う昭和大学藤が丘病院や駅前施設とともに今日まで発展してきました。

まちが出来てから半世紀が経過した近年は、住民の高齢化が進むとともに、施設の老朽化も目立ち始めており、地域の特徴でもある高低差の大きな地形から、徒歩での移動がしづらい生活環境として顕在化してきています。

## 新たなまちづくりについて

藤が丘駅前では、老朽化が進みつつある昭和大学藤が丘病院（築44年）や藤が丘ショッピングセンター（築52年）の機能更新が考えられることから、その機会をとらえ、医療施設がまちなかに立地する特徴を生かし、隣接する駅前施設や公園、商店街と連携した、一体的なまちづくりを行い、地域の魅力向上を図ることが望まれます。

### これまでの経緯

平成30年10月	横浜市、東急、昭和大学の三者による協定締結
平成31年1月	「藤が丘駅周辺のミライをみんなで考えるワークショップ vol.1」開催 <a href="#">【ワークショップレポート1 (PDF: 3MB)】</a>
令和元年8月	「藤が丘駅前地区の再整備に関するパネル展開催」
令和元年9月	「藤が丘駅周辺のミライをみんなで考えるワークショップ vol.2」開催 <a href="#">【ワークショップレポート2 (PDF: 5MB)】</a>

## 再整備の基本的な考え方について

### 再整備の目標

「田園都市線駅周辺のまちづくりプラン」等の上位計画を踏まえ、本地区及び本地区周辺のまちづくりの課題を解決しつつ、ワークショップ等を通じていただいたご意見や将来像を実現していくために、まちづくりの目標を次のように設定します。

## オープンスペース、病院、駅前の商業等が連携した 藤が丘らしい駅前拠点の形成

### 再整備の基本方針



藤が丘を象徴する公園・病院の一体整備と緑豊かなホッとする居場所づくり



安全で快適な駅前交通環境の形成



安心で健康なまちのモデルとなる駅前の機能集積と地域連携

## 再整備の考え方



## 土地利用等の方針（案）

### 【沿道街区】

- 駅前にふさわしい都市機能の集積を図るとともに、にぎわい軸に面する部分に住民や来訪者の利便性を高める機能を誘導し、魅力的でにぎわいのある緑豊かな都市空間を形成します

### 【公園・病院街区】

- 藤が丘病院は、病院機能の継続や高度医療に対応するため、土地の高度利用(容積率 400%・高さ60mを上限)を図るとともに、公園敷地と病院敷地を大街区化し、都市公園を再配置します
- にぎわい・交流に寄与するよう谷本公園周辺プロムナードに面した低層部や公園に面する位置に生活利便機能の導入を図ります
- 病院敷地内に、駐車場、公共駐車場、生活利便施設等を整備し、昇降機能や広場内に通行機能を確保するなど、公園や駐輪場と駅方面とのバリアフリー動線を確保します

### 【駅前街区】

- 交通広場は、既存の交通機能を継続的に確保します
- 藤が丘ショッピングセンターは、土地の高度利用(容積率 400%・高さ45mを上限)に併せて、低層部に生活利便機能を誘導するとともに、質の高い居住機能の確保を図るため、建替えを検討します

- 【凡例】
- 歩行者動線（地上レベル）
  - 歩行者動線（デッキレベル）
  - 縦動線（検討）
  - 建物出入口
  - 生活利便施設

※現時点のイメージであり、今後の協議・検討状況により内容が変更になる場合があります